

福祉施設の感染対策

～新型コロナウイルス感染症対策の再確認を～

ご自身で感染対策がとりにくい高齢者、障害者を守るため、

- ・施設内で感染対策の再点検をお願いします。
- ・全スタッフが支援場面に応じた防護方法や手指衛生のタイミング、換気の徹底などの感染対策がとれるように職場内で話し合いや確認をしていただきますようお願いいたします。

いつも調査資料の送付・調査等にご協力いただきありがとうございます。

福祉施設は、住居、日中を過ごす、就労の場などの様々な場面がある
うえ、利用者の方は、ご自身で感染対策をとることが難しい方が多く、
施設におかれましては日々感染対策に苦勞されていることと思います。

この度、陽性者の行動履歴などの聞き取りから、感染の広がった要因
と推測されることをまとめました。

施設の構造や利用者の過ごし方などに応じた感染対策については各施設
ごとの方法や対策が必要になってくると思います。

今一度施設内の感染対策や職員の感染対策について「社会福祉施設等
における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」や「新型コロナウイルス
感染対策チェックリスト」等も参考に確認をお願いいたします。

施設や事業所への聞き取りにより感染が広がった要因と考えられること①

食事	・利用者同士が近く（手の届く距離）で食事をする。 ・食後もマスクなしで長時間食堂などでお話しながら過ごす。
換気	・食事時や人が集まった時に、暑い・寒い　ため窓を閉める。 ・脱衣所、風呂場の換気が入口のみ開放し空気が流れない。 ・面接や会議において窓がない部屋でドアを閉めて話をする。
入浴	・脱衣所で利用者同士の待ち時間の距離が近い。 ・入浴介助従事が長時間で職員のマスクがずれる
送迎	・窓があいても数センチ程度、または窓があかず、長時間同乗している。 ・外気導入モードに切り替えていない。

一つの要因だけでなく複数の要因が重なっています

施設や事業所への聞き取りにより感染が広がった要因と考えられること②

居室支援 (訪問)

- ・ 口腔ケア時や顔を近づける介助で目の防護をしていない。
- ・ エアロゾルが発生する吸引時等にサージカルマスク着用のみで換気がない。
- ・ 自宅訪問では利用者にマスク着用や換気の協力を求めることが遠慮がちで感染対策がとれない。

陽性者への対応 (レッドゾーン)

- ・ 支援が頻回で何回も訪室が必要、利用者の支援を急ぐ場合の感染対策の難しさがある。
- ・ 汚染されたガウン等の脱ぐ場所、脱衣方法、廃棄物の置き場所など脱衣手順等の確認が十分ではない。

消毒

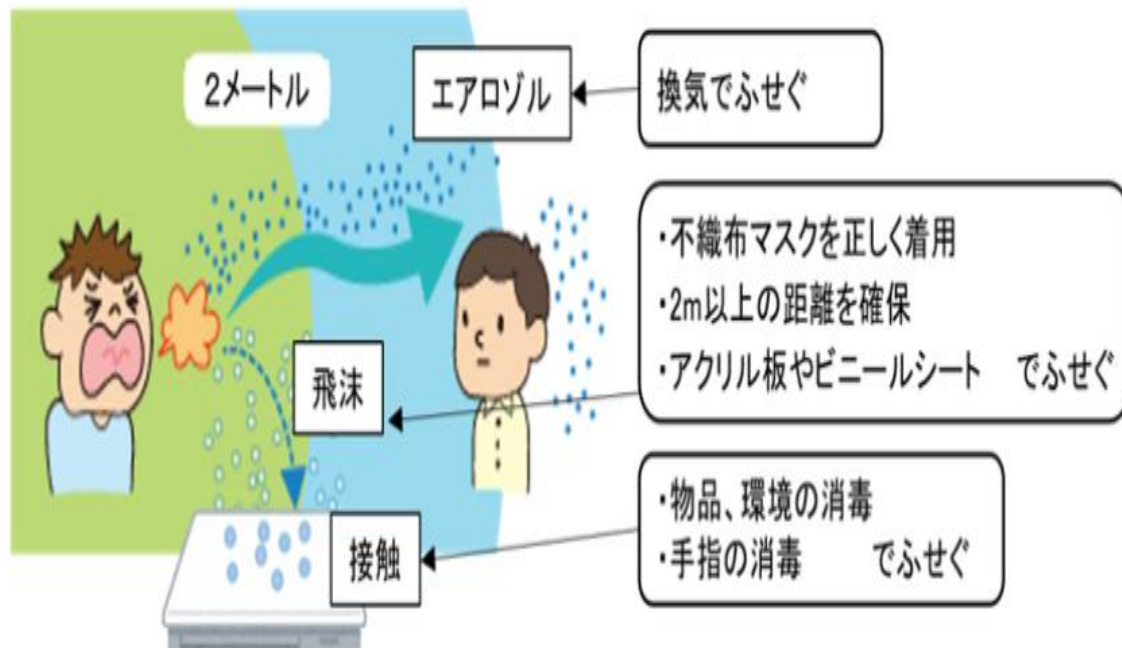
- ・ 環境消毒に用いる消毒液の濃度が低い。

一つの要因だけでなく複数の要因が重なっています

新型コロナウイルスの3つの感染経路 (エアロゾル、飛沫、接触)を遮断する

(1)マスク (2)換気 (3)消毒 (4)距離

これらの対策で、3つの感染経路（エアロゾル、飛沫、接触）を遮断しましょう



引用：奈良県ホームページ

3つの感染経路である

○エアロゾル

○飛沫

○接触

の感染経路を遮断するよう、

- ・車や室内の換気
- ・利用者のマスク着用の協力
- ・場面に応じたマスクや防護方法
- ・手指消毒の徹底 など

についての対策をお願いします。

参考資料（奈良県作成資料）

○感染対策全般

- ・ 社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル（令和 4 年 3 月改訂）

<https://www.pref.nara.jp/secure/263708/manual0318.pdf>

○平時の感染対策が場面別にチェックリストになっています

- ・ 奈良県内高齢者施設用 新型コロナウイルス感染対策チェックリスト

<https://www.pref.nara.jp/secure/282802/check.pdf>

- ・ 障害福祉施設における新型コロナウイルス感染症感染対策マニュアル運用チェックリスト

<https://www.pref.nara.jp/secure/282897/checklist.xlsx>